

おどろき、快適、仕事と暮らし

 **KING JIM**

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

<https://www.kingjim.co.jp/>

おどろき、快適、仕事と暮らし

 **KING JIM**

KING JIM REPORT キングジムレポート

おどろき、快適、仕事と暮らし。
世の中に、まだないものを、もっと。



TOP MESSAGE

キングジムは、ファイルと電子文具を核とした、文具事務用品のメーカーです。
代表商品の「キングファイル」は、日本のオフィスにファイリングという文化を創り出しました。

1988年には、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルライター「テブラ」を開発。

発売以来、ファイルのタイトル表示だけでなく、さまざまな分野の表示に活用され、キングジムにおける第2の柱となりました。

「キングファイル」も「テブラ」も、そのジャンルのパイオニアとして新しい市場を開拓してきたといえます。

「独創的な商品を開発し、 新たな文化の創造をもって社会に貢献する」

この経営理念のもと、私たちは高い志を持ち、新たな時代を切り拓く商品づくりを続けています。
その志は文具やオフィスにとどまらず、さまざまな領域へと広がっていきました。

「キングジムは時代の変化をチャンスと捉え、 独創的なクリエイティブ集団であり続けたい」

そして今、時代は大きく変化しています。
働き方が変わり、ペーパーレスの流れは止まりません。
これまでの文具・事務用品の領域だけでなく、ライフスタイル分野の商品開発、新たなサービス提供、海外を視野に入れた提案販売にも果敢にチャレンジし、お客様に新たな価値を提供することに力を注いでまいります。
キングジムのDNAである独創的なアイデアを力に、応援いただける多くのファンの皆さまを大切に、そして新たなつながりを求めて、私たちは変化し続け成長してまいります。

株式会社キングジム
代表取締役社長

木村 美代子



おどろき、
快適を生み出す
キングジムの商品

01

モノ、情報、行動を整理する。
仕事や暮らしをもっと快適に。

自立する、書き込む、持ち運ぶ。
「整理」に多様な選択肢を。

使いやすさを追求した、アイデア満載の機能性ファイルはキングジムならではの商品です。書見台のように立てて使えて効率的に作業ができる「ジリッツ」。ポケットに書類を入れたまま書き込める「カキコ」。取っ手が出し入れでき、持ち運びにも便利な「フェイスリッツ ボックスファイル」などシーンに合わせて働きやすさをサポートします。



機能性
ファイル

ジリッツ

フェイスリッツ
ボックスファイル

カキコ

紙だけではなく、
モノもすっきり収納。

「整理」のノウハウを暮らしにも広げよう。その思いから生まれた「SPOT」シリーズ。家庭の中で潜在的に困っているシーンにスポット（ライト）を当てて快適な生活をサポートします。



SPOT
シリーズ

ツールスタンド

スタックバスケット

テブラ

1枚のラベルから
仕事や暮らしを変える。

「ファイルの背見出しを誰でも簡単に美しく」を目指して誕生したラベルライター「テブラ」。1988年の誕生以来、オフィスはもちろん、店舗や施設、ご家庭など活用を広げてきました。対応するテープカートリッジは400種類以上。使うシーンや用途に合わせてお選びいただけます。



立てたり、開いたり。
シーンが広がる使い方。

教材やガジェット類をまとめて収納でき、楽に持ち運びができるキャリングケース・ポーチシリーズ。開いてすぐに作業ができ、学習や仕事のシーンをサポートします。キャリングケースは90°に開くと自立し、180°に大きく開いて机の棚に入れると、引き出しのようにも使えます。

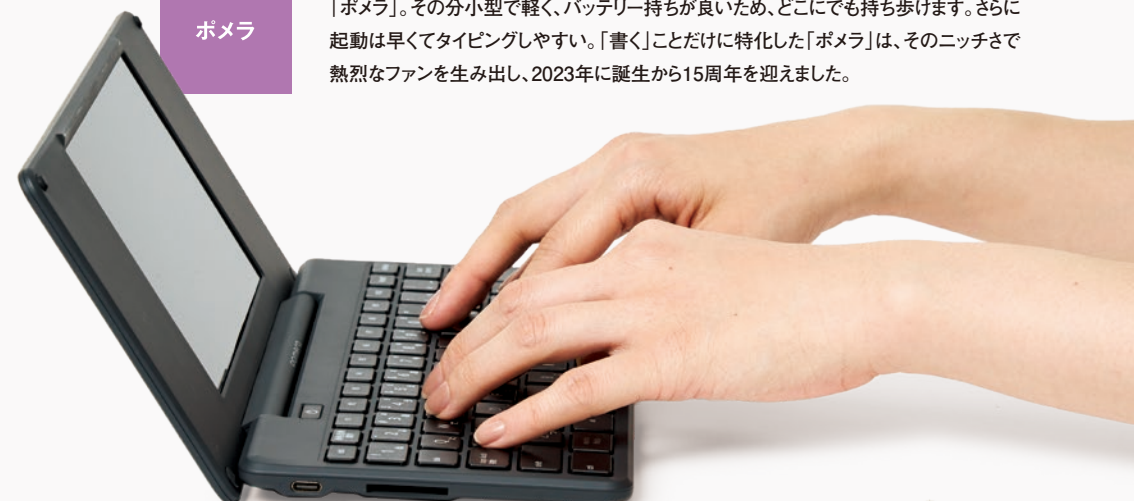
カルシェット



ポメラ

“文章を書く”にひたすら集中できる。
熱烈なファンを生んだ秘密とは？

ノートパソコンのようですが、ネット検索などの機能はあえて削ぎ落としたデジタルメモ「ポメラ」。その分小型で軽く、バッテリー持ちが良いため、どこにでも持ち歩けます。さらに起動は早くタイピングしやすい。「書く」ことだけに特化した「ポメラ」は、そのニッチさで熱烈なファンを生み出し、2023年に誕生から15周年を迎えました。



Column | 整理整頓からコミュニケーションまで

多彩な用途提案

「テブラ」の用途は整理整頓やお名前付けだけではなく。プレゼントラッピングや手帳デコレーションなど、アイデア次第で楽しみが広がります。



広がる活用シーン

オフィスのみならず、工場、店舗、ご家庭など幅広いシーンでご活用いただいている「テブラ」。特設サイトではたくさんのラベリング事例や用途に合わせた「テブラ」の選び方をご紹介します。

特設サイトは
こちらから▼



時代に合わせた進化

スマートフォンからアプリで入力・印刷できる機種やパソコン接続できる機種もラインアップ。さらには、ラベルデザインをダウンロードできたり、多言語翻訳機能を搭載していたりと時代に合わせた「使いやすさ」を追求しています。



誰もが自分らしく。
時代の変化と多様性に寄り添う。



ブギー
ボード

さまざまな
コミュニケーションを、
1枚のボードから。

人気の理由は「書いて、消す」そのシンプルな機能。仕事のメモやToDo管理のほか、子どものお絵描きや家庭内の伝言メッセージなど使い方はさまざまです。医療・介護施設などでは筆談に使っている、というお声も届いています。



コール
ミーツ

耳をふさがない
ヘッドセット!?

WEB会議が普及し便利になった一方で、長時間イヤホン装着していると生まれる不満もあります。「コールミーツ」は耳をふさがず空気振動で音を届け、耳への圧迫感や不快感を軽減します。



スピーカー
付きマイク

スピーカーに
つなぐ手間無し。
これだけあれば、声が届く。

煩わしい音響機器の準備や難しい設定をすることなく、電源を入れるだけですぐに使えるマイク型の拡声器です。会議や説明会のほか、災害時の誘導にも活躍します。

ライト付き
ディスプレイ
ボード

新たなワークスタイルの不満点を解消。

工具不要で簡単にディスプレイに取り付けることができるLEDライト付きのボードです。デッドスペースを有効活用できるほか、仕事中は手元を、WEB会議中は顔映りを明るくでき、新しいワークスタイルの不満点をスマートに解消します。

「環境騒音カット」で
生活、勉強、仕事を
さらに快適に。

デジタル
耳せん



一見イヤホンに見えるこの商品は「デジタル耳せん」。空調音や機械の動作音など環境騒音のみをノイズキャンセリング技術でカットします。呼びかけやアナウンスなどの必要な音は聞こえるので安心です。

光る表示
プレート

“使用中”に気付きやすい。
光って知らせる表示プレート。



会議室や個室ブースの表示プレートを「見にくい」と感じている人は実は意外と多いんです。会議室や共有スペースの使用状況をライトで知らせる「光る表示プレート」は、カバーをスライドするだけの簡単操作でライトが点灯します。また、誰もが見やすいフォントとカラーを採用しました。

災害対策を身近に。
すぐに取り出せる安心を。

オフィスの災害対策は、事業継続計画（BCP）における重要課題です。一方、場所をとるため倉庫にしまい込まれてすぐに取り出せないというリスクも。A4ファイルと同じ大きさの「災害対策セット」は、個人のデスクや書棚に保管しやすく、緊急事態にも安心です。



災害対策
セット



手をかざすだけで衛生的。
さまざまな空間になじむ
手指消毒器。

手をかざすだけでアルコール消毒液が噴射される自動手指消毒器です。思わず手をかざしたくなるような柔らかいフォルムと、さまざまな空間になじむ心地よいデザインが特長。コロナ禍以前の2019年に発売し、新しい衛生観念が定着した現在でも多くの場所で活躍しています。

テッテ





ホルボ

新しいエチケット習慣。 気になるごみの問題をスマートに解決。

除菌シートやマスク、お菓子の包み紙など、お出かけ中に出る小さなごみに困ったことはありませんか？ そんな日常の不満点解消のために作ったのが、このごみ箱ポーチ「ホルボ」。ばね口で簡単に開閉でき、内側のごみ袋の交換も簡単です。

ほんのひとてま加えることで いつもの暮らしが“ちょっといい日”に。

持っているだけで嬉しくなったり、もっと集めたいなったり、使うほどに愛着が湧いたり…「HITOTOKI」は日々をたのしむ工夫を提案する文房具ブランドです。マスキングテープやシール、ノートなど、お客様の暮らしをそっと彩るアイテムを展開しています。おすすめの使い方や最新情報はInstagramを通して発信しています。



HITOTOKI
シリーズ

仕事や学習に、 進化した「かわいさ」を。

ぬいぐるみベンポーチの「ポーズー」は、手足・背中を自由に曲げられるため、座らせてペン立てのようにしたり、スマホを立てかけてスマホスタンドのように使うこともできます。「かわいい」だけでなく、機能性も備わっているところが、キングジムらしさです。



ポーズー

はたらく「合間に」 健康習慣の提案。

「すきま時間にセルフケア」をコンセプトに開発した、正しい姿勢や体幹をケアできる健康用品シリーズ。自宅でのデスクワーク時間の増加や健康経営の流れに応えるワークスタイルを提案しています。



aimani
(アイマニ)
シリーズ

ルラップ

試験勉強に これがあったら…

学習タイマー「ルラップ」の開発のきっかけは、担当者自身が受験生のとき。テスト勉強をする際にタイマーを2台使用し、トータルの試験時間を計りながら大問ごとのラップタイプも計っていました。「これが1台で簡単にできたら！」そんな当時の思いが商品化につながりました。



ファブラブ



ファイルづくりのノウハウを 活用した推し活グッズ。

“推し”に合わせて選べる豊富なカラーバリエーションで、フォトカードや会報誌をきれいにコレクションできるバインダーと、貼ってはがせるデコレーションステッカーをラインアップ。“推し活”に情熱を燃やす社員が、ファイルづくりのノウハウを商品企画に活用した自信作です。



めまもりん

子どもの 近視対策に、 優しく見守るライト。

動画やゲームなど、子どものデジタルデバイス利用時間が増えてきたことで、子どもの近視が深刻な社会問題になっています。保護者の代わりに「離れて見てね」を教えてくれる近視対策ライト「めまもりん」は、顔が近づくとライトとブザーで適切な距離感を教えてくれます。

フラッティ
シリーズ

フラッティ
ワンマイル



フラッティ シアー

中身が見えて、かさばらない。

「フラッティ」は、カバンに収めやすいフラットな形状と中身が見える透明ポケットが特長のバッグインバッグのシリーズ。新たな展開としてストラップ付きでミニバッグのように持ち歩ける「フラッティ ワンマイル」や、メッシュ素材の「フラッティ シアー」などが生まれ、さまざまなスタイルの提案につながっています。

Column | キングジムファンとのコミュニケーション

誰もが話しかけやすい場、 一緒におしゃべりできる場をつくる。

社長の「何でもいいから、1日10回投稿してみて。『おながが空いた〜』でも、『今日食べたごはんは〜』でも、内容は任せるから」という一言から始まったX (旧:Twitter) 公式アカウント。今では約45万人の方にフォローいただき、ファンの方や他企業の公式アカウントと「おしゃべり」できる場へと成長しました。ここから話題になった特別企画やオリジナル商品も多く生まれています。



「中の人」のつぶやき

「キングジム」を一緒に遊ぶ、 オリジナルグッズの数々。

商品を便利に使っていただくだけでなく、その商品自体のディープなファンになっていただくこと、そしてファンの方々と一緒に楽しむことも、私たちは大切にしています。話題になった「キングファイル」をモチーフにしたオリジナルグッズやデジタルメモ「ポメラ」の15周年を記念したスケルトンモデルなどもそんな取り組みの一環です。ワクワク感をファンの方々と共有しながら、遊び心あふれるキングジムらしさを伝えています。

デジタルメモ「ポメラ」
「DM250X Crystal」



キングファイル
バックパック



キングファイル
ミニBOX

「商品開発のために市場を見つめる」というとなんだかかしこまってしまうですが、一番身近な市場とは自分自身でもある、と思っています。今回開発のヒントをもらったのは、「受験生時代の自分」です。当時、大学受験の過去問題集を予行演習するときに「全体の試験時間を計りながら、大問ごとのラップタイムも同時に計りたい」と思っていました。その思いがこの学習タイマー「ルラップ」の開発につながりました。もしかしたら、自分の受験生時代にはヒットしなかったかもしれませんが、でも時代は巡り、現在では学習タイマーを用いて「勉強した時間をSNS上に記録する」ことが、モチベーションを維持する一つの学習トレンドとなっています。「過去の自分の気持ち」にヒントをもらいつつ、現在のニーズと掛け合わせることで、私の開発商品第一号は誕生しました。商品カテゴリーにとらわれないキングジムだからこそ生まれた商品かもしれません。ささやかではありますが、「その人の未来に役立つもの」を生み出し、届けていきたいです。



過去
の自分
がヒントに。
必要と
してくれ
る人
のため
に作り
まし
た。

電子文具開発部
デジタルプロダクツ課
伊東 匠
(2018年入社)

お気に入り商品
私が開発した学習タイマー「ルラップ」が一番のお気に入りです。今後もさまざまな商品を生み出していきたいです！

キングジムの商品を
全国に届けたい！

広域営業部
広域営業2課
高橋 碧衣
(2020年入社)

お気に入り商品
「テブラ」SR-R2500Pです。他販売店での実績などをまとめ、粘り強く提案を続けたことで、全国500店舗以上での販売が実現しました。



伊東さん開発の「ルラップ」、今まさに家電量販店に提案をしています！売場の担当者さんに「こういう人が、こういうニーズを持っているから、こうすれば売れるはずです」という“売れるストーリー”を伝えるのが私の仕事。最近で一番やりがいを感じたのは「ハルファイル」という、吸盤でキッチンの壁などに貼り付けられる整理ファイルの営業活動です。私が担当している家電量販店では、コーナーをまたいだ陳列をすることは減多になく、担当者さんは文具コーナーへの展開を想定されているようでしたが、冷蔵庫コーナーに置くことを提案しました。実際、家庭では冷蔵庫にさまざまなメモやレシピがマグネットで貼り付けられ、書類整理のニーズがあることはつかんでいました。冷蔵庫コーナーを見に来た方なら、こんな便利なアイテムがあるということに驚き、喜んでくれるはず。そんな“ストーリー”を担当者さんに伝えたとこ、冷蔵庫コーナーへの陳列が実現したので。私たち営業の仕事は、共感をつくること。そこから、商品に価値が生まれるのだと思います。

伊東さんの“今”を育てた！Career

入社1年目

- 家電量販店への営業を担当。商談を通じ市場の心を学ぶ。
量販店の担当者は、「どうすれば売場に置いてくれるのか？」「どのような陳列をすれば売れるのか？」など、常に売上を伸ばす方法について考えています。限られた陳列スペースの中でいかに商品を際立たせるか、という意識を持って取り組んでいました。

入社4年目

- 開発本部へ。初めての商品開発に挑む。
どのような商品が市場に求められているのか？営業時代の経験のおかげで、コンセプトや機能を客観的に検証できました。
- 先輩たちの意見にも耳を傾けながら改良を続ける。
実は「ルラップ」の試作品のうち何種類かは、現在のデザインのような傾斜がついていませんでした。「キッチンタイマーとの明らかな差別化を」という意見があり、現在のデザインを選びました。

伊東さんの1日

07:00 起床・身支度
08:30 出社
08:50 業務開始・メールチェック等
開発した商品の販売実績を確認
09:20 企画書作成
12:00 同僚とランチ
13:00 協力メーカーさんと打ち合わせ
15:00 企画のアイデア出し・新規企画検討
アイデア収集のため、市場調査へ外出することも
17:35 退社
18:30 ジムでトレーニング
20:30 自由時間
24:00 就寝

友人と小旅行に。
バンジージャンプに挑戦しました！



高橋さんの“今”を育てた！Career

入社1年目

- 広域営業部に配属。営業の仕事はイチから学ぶ。
お客様や店頭を訪問することに加え、社内での業務が多いのが広域営業部。販促物や見積書・店頭向けの提案書作成などたくさんの実務を学びました。
- 他のメンバーと「ネタ」共有。
営業はチームワーク。「こんなストーリーで売れたよ」など、お互いの成功事例を共有し合い、自分の担当先で提案してみます。
- 全国に自分の担当商品が並ぶ！
家電量販店は規模が大きいため競争も激しいですが、商品の魅力が伝われば一気に全国店舗で販売ということも。とても嬉しい瞬間です。

高橋さんの1日

07:30 起床・身支度
08:35 出社・業務開始
メール確認
新商品勉強・商談資料作成
12:00 お昼
先輩とランチ！お弁当のときも
13:00 客先へ出発
14:00 商談
16:00 帰社→商談宿題回答
17:35 退社
18:30 食事・お風呂
20:00 自由時間
23:30 就寝

仕事終わりに同僚と
野球観戦！



販促

店頭のPOPや陳列什器、チラシ、キャンペーンなど、
さまざまな手段で販売促進に取り組みます。
開発や営業部門などと連携しながら作戦を考え、実施します。



思い出の担当商品は「COFFRET(コフレ)」です。コスメパレットのような見た目のフィルムシールで、アイシャドウを重ねるように色や形を自由に組み合わせる楽しさを伝えたい! と考えました。苦心の末にできあがったのが、化粧品売場に並んでいるような陳列什器。店頭スペースの制約や耐久性と戦いながら、商品ラインアップをずらりと見せることにこだわりました。店頭に並んだ姿を見たときは感激でした。各部署と連携、調整しながら商品の魅力に光を当てる仕事にやりがいを感じています。

伝えたい商品の魅力に、
光を当てる仕事です。



営業戦略部
販促課
渡邊 ユキ
(2022年入社)

お気に入り商品

ぬいぐるみではなく、ペンポーチ。
この「ボーズー」があまりにかわいくて、自宅のイスにぶら下がっています。



EC事業

オンラインストアの立ち上げや運営全般を通して、
キングジムのオンライン販売(ECコマース)を担っています。
商品の見せ方一つで日々売れ行きが変わる新市場を開拓しています。



キングジムは社会のさまざまなニーズへの事業拡充を続けています。私が担当する雑貨のオンラインストアもその一つ。いわば店長として、サイト上の掲載順や見せ方、キャンペーンの内容やタイミングまで総合的に運営し、ECオリジナル商品の開発もおこなっています。お客様と直接つながっているから、見せ方一つ変えるだけで売れ行きが変わる…そんなオンラインならではの提案を日々模索しています。スピード感を持ってさまざまな施策ができるのはEC事業部の醍醐味です。

ECの力でキングジムを
次のステージへ。



EC事業部
ラチュナ事業課
多賀谷 彰
(課長・2013年入社)

お気に入り商品

私が前部署で開発した自慢の力作「ジリッツ」。ファイルが“自立”する新発想でニーズの掘り起こしを狙いました。



世の中の声に、
耳をすませる。



広報室
井上 彩子
(室長・2008年入社)

お気に入り商品

子どもとのお出かけに「フラッティ ワンマイル」。大きい荷物と別に持てるから、スマホやお財布をさっと取り出せます。



調達

グループ会社をはじめとした国内外の生産拠点の生産計画を立案。
各グループ会社の予算策定や財務分析をおこない、
生産体制の最適化を図ります。

私が手にしている金属パーツは、「キングファイル」の「とじ具」。大量の書類を簡単にファイリングすることができます。「キングファイル」に欠かせないこの部品はマレーシアのグループ会社で生産し、ベトナムへ供給されます。他の部品も、少しでもコストを抑えるため世界の生産拠点から調達し、最終的にベトナムで「キングファイル」の形に加工され、日本に運ばれてくる仕組みです。調達部では需要動向や生産能力など考慮し、品切れや過剰在庫にならないよう注意しながら先々の計画を立案しています。



調達部
管理課
飯嶋 健太
(2019年入社)

品質は、
私たちが守ります。



お気に入り商品

海外研修のときに生産を担当した「カキコ」です。表紙色の調整など海外の仲間と取り組んだ愛着のある一品です。

広報

商品・サービスなどの情報をステークホルダーに伝え、信頼を醸成することを目指しています。メディアへの情報発信、SNSでのコミュニケーション、IR情報の開示など、伝える手段はさまざまです。

例えば“推し活”に関する商品PRのとき。「わたしには“推し”はいないな…」という人へのアプローチを諦めたら、私たち広報の存在意義はありません。広報の本質はお客様との接点づくり。「ベツって大好きなパートナー(推し!)だよな」「我が子のアルバムづくりって実は一種の“推し活”じゃない?」と、さまざまな人の気持ちに寄り添い、接点を増やしていくのです。それはSNSによるコミュニケーションでも同じ。新商品紹介だけでなく、「今日は今期一番に寒いから、温活ネタが響くかも」などと、世の中を日々観察続けています。



総務

株主総会や持株会の運営など株式に関する業務、
各種契約書の作成や協議といった法務を中心に、
業務は多岐にわたり、会社の根幹を支えています。
独創的な商品開発の権利を守る知的財産課もあります。



総務部
総務課
青山 明希保
(2017年入社)

私が担当している主な仕事が株式関連です。その一つである株主総会の準備は、何度もチェックと修正を繰り返し綿密に進めています。また、年間を通じた株式管理も必要です。株式の取引を活性化させるために、株主優待を充実させるアイデアを出したり、広告を作ることもあります。株式とは会社を支える資産であり、株価とは市場からの評価でもあります。緑の下の力持ちとして、キングジムという会社の魅力を高めていきたいと考えています。



キングジムの市場評価を、
守り抜く、高め続ける。

お気に入り商品

営業時代の思い出が詰まった「ブギーボード」。電子文具という狭い市場ながらも、小さくてポップな色合いが幅広い層に好評でした。



経営企画

会社全体の経営目標や計画を立案し、その実現を図る部署です。
中期経営計画の作成や、それを踏まえた商品の生産・販売の計画、
M&Aの検討・実施など、会社の未来に関わる施策に携わります。



キングジムの
今と未来を考える。

経営企画部
赤川 和樹
(課長・2010年入社)

私たちの仕事は会社を着実に未来へ導くことです。現実的過ぎても成長の幅が狭まりますが、荒唐無稽な計画を掲げるわけにもいきません。そのため、今おこなっているのは、「私たちの使命は何か?」をあらためて考えることです。市場や環境が変化しても、この点が揺らがないれば大きな夢を描けます。キングジムはファイルから始まり、「仕事や暮らし」へ領域を広げてきた会社です。もっと面白く、広く社会に貢献する企業となるために、これからも一層の努力を続けます。



部署の詳細は
こちらから▶



お気に入り商品

私の部署は机を自由に選べるフリーアドレス。「ツールボード」は、毎朝机に置くだけで必要な道具が全部揃って便利です。



多様な働き方や価値を生み出す

職場環境・福利厚生

多様な志向やバックグラウンドを持った社員一人ひとりが最大限に能力を発揮できるよう、さまざまな制度で支援しています。

一人ひとりの自己実現で、社会に価値を生み出す 人材育成

キャリアと経験



ジョブローテーション

当社では総合職採用を実施しています。文系・理系問わず、10年で2〜3部署を目安にさまざまな職種に携わり経験を積むことで、多角的な視点を身につけることができます。

グローバルな人材育成



海外派遣研修制度

毎年若手社員の中から選拔し、ベトナム、インドネシア、中国（深圳）などの海外グループ会社へ1年間の研修生として派遣し、生産・調達・営業の業務に携わります。

挑戦や希望を支援



自己申告書制度

年1回、全従業員が、将来のキャリアや現在の職務状況、職場での課題などについて経営トップに直接伝えることができます。適切な人事異動や職場環境の改善につながっています。

学習



論理力向上
統計分析
AI活用
スピーチ能力

社員自己啓発支援制度

対象分野はさまざま。現在だけでなく将来携わる業務に関連ある事柄であれば、学習のための受講料（入会金・授業料など）の一部を援助します。

Others

- eラーニング（ビジネススキルや語学、マネジメントなど幅広く、無料で受講できます。）
- 外部集合研修利用制度（年間100テーマのセミナー・研修を無料で受講できます。）
- 投資教育セミナー（業務関連だけでなく、ライフプランづくりもサポートしています。）

多様性・ワークライフバランス

働き方にも多様性を



時差勤務
テレワーク

職務上の都合や傷病、育児・介護などの事由がある場合、時差勤務での対応が可能です。テレワークは業務に応じて多くの社員が活用しています。

ライフスタイルに合わせた選択肢を



毎週水曜日はノー残業デーを実施しています。全社員へ最低8日の有給休暇の取得を推進しており、2023年度平均取得実績は11.8日／年です。

女性活躍推進



2030年までに女性管理職比率を20%にする目標を掲げています。新卒採用では一貫して男女比50:50を基準に採用活動をおこなっています。

働くことを続けるために



育児と仕事の両立を後押しする取り組みを実施し、厚生労働大臣より「くるみん」認定を受けています。育休・産休前には面談を実施し社員をサポートしています。



Others

- 障がい者雇用（障がいを持った従業員へのサポートを充実させたサテライトオフィスを、埼玉県川越市と神奈川県横浜市に設けています。それぞれの個性や能力を尊重し、運営をおこなっています。）
- 子どもが小学校3年の修了時までの支援（1日の所定労働時間を最大2時間短縮し6時間勤務とすることができ、）時間外労働の制限を申請することも可能です。
- 育休・産休取得者へ会社情報メールを配信
- 結婚→産休・育休→復帰までの社内制度・手続きをまとめた「ライフイベントハンドブック」を配布
- 産休・育休明けの社員を迎える部署と直属上司用に「イクボスマニュアル」を導入
- 完全週休2日制（土・日）、祝日
- 年間休日125日
- 介護休暇、子の看護休暇
- メモリアル休暇
- リフレッシュ休暇
- ボランティア休暇
- 積立有給休暇
- 最終退社時刻20時5分の実施
- 配偶者同行転勤・休業制度
- ジョブ・リターン制度
- 転勤者への家賃補助制度など

詳細は
こちらから▶



WORK STYLE X KING JIM

「キングジムの働き方」座談会

さまざまな価値をうみだす、多様な働き方とは？



選択肢の数だけ、 生き方も働き方も自由に

世の中は大きく変わり、多様な価値や生き方を尊重することがこれまで以上に重視されています。「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」を経営理念としている当社

も、こうした多様性について全員で考えていかなければなりません。さまざまなバックボーンを持つ皆さんからのご意見をお聞かせください。

——「キングジムの働き方」についてどのように思われますか？

〔中村〕 私は人事部で採用業務を担当していて、学生さんから制度のことについて質問されることが多いのですが、制度の裏側にある社風の良さも重要な側面だと思っています。助け合いの精神があるというか。

〔戸上〕 キングジムは、上下関係なく支え合う社風がいいですね。入社直後でも、新人扱いされることなく一人の仲間として意見を求められました。フラットな人間関係だからこそ自然に互いを支え合っているのだと思います。

〔川元〕 私は兵庫県出身で、キングジムへの就職を機に上京したので知り合いも少なかったのですが、先輩が食事に誘ってくれたり休日は同期と遊んだり、孤独感を感じることはなかったです。

〔岸田〕 滋賀県出身の私も同感です。あと、これは制度的な話ですが、経済的な支援も手厚いと思います。配属や異動に伴い、住居の移転を必要とする場合は会社から引越代が出ますし、家賃も上限内で補助してもらえます。会社から数駅の便利な立地で、実質数万円で暮らすことができるのは、ものすごく助かっています。

〔中村〕 私は川元さん、岸田さんとは逆で、入社直後の配属が大阪支店でした。東京の実家暮らしだった私にとって初めての一人暮らしで、最初はドキドキしましたがセキュリティが充実しているマンションを安価に借りることができ、難波という大阪の人気エリアにも歩いていけるほど便利な土地でした。数年後に東京本社で異動となったときは、「まだ帰りたくない！」と思ってしまったくらいでした(笑)

〔岸田〕 休みの取りやすさも魅力です。私は2年前に入社したばかりなのでまだまだ新人なのですが、上司が有給取得を提案してくれます。先日は三連休に有給休暇を2日足して、3泊5日のロス・ラスベガス弾丸ツアーに行ってきました。

〔中村〕 私も五連休にしてベトナム旅行を満喫したことがあります。リフレッシュでき、また仕事を頑張ろうという気持ちになりました。

〔川元〕 営業職でも、有給休暇は取りやすいですよ。もちろんお客様の訪問など相手ありきの仕事はありますが、要は自分のスケジュール次第だと感じています。時差勤務やテレワークの制度も活用して、仕事で成果を出すこととプライベートの充実を両立しようとしています。

〔戸上〕 休暇もですが、働き方もさまざまですよ。例えば時差勤務やテレワーク。私は開発部で「HITOTOKI」ブランドの商品開発やブランディングをおこなっていて、成長してきたこのブランドをもっと充実させるために日々検討しているのですが、打ち合わせが遅い時間になることもあり、よく時差勤務を利用しています。自分自身、朝型というよりは夜型なので、集中できる時間帯を選ぶのはとてもありがたいです。

〔川元〕 ある部署では育児中で時短勤務を利用している社員が複数名いたり、16時頃になったら静かになっているという話も聞いたことがあります。時差勤務にしてもテレワークにしても、さまざまな選択肢があるということが働き方や、自分らしさの多様性につながるのではないのでしょうか。

ジョブローテーション、 実際のところ

多様性を生み出すという意味では、ジョブローテーション制度も一人ひとりの可能性を発見するもので、キングジムはそれによる個人や社内の活性化を重視しています。

——ジョブローテーションについて、 皆さんの実感はいかがですか？

〔岸田〕 前の部署では「テブラ」の商品開発をしていたのですが、現在は海外向けの「テブラ」の販促に携わっています。日本とは異なる風習や文化を見据えながら外国語のマニュアルを作ったり仕様を調整したりと、自分の視界が一気に広がりましたが、仕事の基盤となる知見はこれまで培ってきたもの。自分の経験をいかしながら、関わる領域を広げていける嬉しさを感じています。

〔中村〕 私は営業から人事へ異動しました。岸田さんとは違って、全く異なる分野で専門用語も知らないものばかり。でも、元々自分が希望していた部署の一つですし、スキルを自分のものにするため勉強中です。そのための自己



啓発支援制度もキングジムには充実していますしね。

〔川元〕 私の同僚にもそれで資格を取った人がいます。

〔岸田〕 eラーニングも充実していますね。SDGsと情報セキュリティなどについては全社員に関わることで私も受講しました。

〔戸上〕 ジョブローテーションの面白さは、「全国の仲間づくり」だったりしますよ。販促部門に所属していた時代に、開発や営業、広報、調達などたくさんの方々と関わったのですが、そのつながりは私が開発部門に異動して商品開発をするときにもいかされました。知りたいことが出てきた誰かに質問することができますし、専門分野が皆さん異なりますから聞くことができる範囲も多岐にわたります。さらにその方々自身も異動することがあれば、私のネットワークはさらに広がっていきます。この座談会の冒頭で中村さんが仰っていましたが、キングジムの社内には頼られたら応えよう、頼られなくても助けようという人が多く、それが全国規模に広がっていく心強さがあります。



キングジムの社風とは

〔戸上〕 一方で、仕事上の関わりがないとなかなか他部門のことを知る機会が少ないという課題もあるかもしれません。

〔川元〕 だからこそジョブローテーションが果たす役割は大きいと思います。ネットワークが広がることで心理的ハードルも下がりますから。

〔中村〕 仕事では関わらないけど他部署の後輩と仲が良いとか、皆さんそれぞれの社内コミュニティがあるみたいです。そこそこつながっていたんだ！と話を聞くと結構面白いんです。サウナや、特定のアーティスト好きが集まるコミュニティとか。

〔川元〕 私は野球観戦が好きで、仕事終わりに後輩と幕張まで観戦をしに行ったこともあります(笑)

〔中村〕 「社長とお茶会」が定期的にある企業も珍しいと思います。コロナ禍の最中に始まったオンラインコミュニケーション企画なのですが、社長と趣味の話をする事になって、そうそうないですよ。数人での会話をフランクに楽しめ、会社の理解も深まると人気の企画です。

自分は何で
貢献できている？
を見つめたい。

つながりの数が、
発想の広さに
つながります。

働き方の
選択肢がある。
それが心のゆとりに。

ジョブローテーションは
とっておきのチャンス！

ステーションリー開発部
ステーションリー課
戸上 みず紀

2014年入社。営業部門から開発に異動後、さまざまな商品を開発。「HITOTOKI」ブランドを誕生以来育ててきた。

海外事業推進部
企画課
岸田 大志

2021年入社。「テブラ」の開発を経て、今年から現職。海外向けの「テブラ」販促に携わる。

全員で活躍する「面白い」未来へ

最後に、皆さんの今後の夢をお聞かせください。

——こんな会社になってほしい、という希望はありますか？

〔戸上〕 一人ひとり考え方や意見はさまざまですが、その全部を尊重してくれる会社です。だからこそファイルや文具という枠から飛び出して、多種多様な商品を出せるようになったのだと思います。もっともっとそれが広がって、日常生活のあちこちにキングジム商品が潜んでいる、そんな会社になりたいです。

〔中村〕 同感です。キングジムの認知度をもっと広げていきたい。面白そうな会社だになって、若い方々にもっと知ってほしい。人事部では社内の多様性をつくるため、2000年からさまざまな取り組みを進めています。女性社員の採用拡大もその一つ。総合職採用を本格的に開始し、新入社員の男女比は毎年半々です。こうして蒔き続けてきた種は、当時若手だった女性社員たちが次々と成長することで花開いているんですよ。今の目標は、2030年に女性管理職比率を20%にすることですが、それで終わりではありません。まだまだその先を目指して進化し続けたいです。

〔川元〕 私は現在営業なのですが、年齢層や志向まで、本当にいろいろな人がいるなと感じています。だからこそ生まれるたくさんの商品を武器に、訪問先のお客様から「また面白いもの持ってきたねー」と言われ続けたいです。

〔岸田〕 キングジムにはたくさんの支援制度と、それを自分の成長につなげられる環境が整っていて、「自分の得意がいける会社」だと思っています。私はまだ入社3年目ですが、面白いアイデアを持つ自慢の先輩方と触れ合って、自分の得意をもっともっと見つけていきたいですね。それが自分の幸せにも、会社の成長にもつながると信じています。



SUSTAINABILITY X KING JIM

持続可能な社会に向けて
ーキングジムが大事にしているものー

経営理念である「独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する」
の先にあるものこそ、持続可能な社会の実現です。
今まで世の中になかったものを創出することで、
仕事や暮らしを少しずつでもより良いものに。
環境や人材とも寄り添いながら、未来へ。
一人ひとりが社会とともに成長を続けていきます。

独創的な商品の 開発による社会貢献

- ・世の中になかった新しい価値の提供
- ・サステナブルな商品の開発
- ・品質管理の徹底
- ・知的財産の獲得と保護
- ・経営理念の実践と社内浸透

環境への 配慮

- ・CO₂排出量の低減
- ・資源循環(3R)
- ・廃棄物管理

多様な人材の 活躍推進

- ・労働安全衛生
- ・ダイバーシティ推進
- ・人材育成
- ・ワークライフバランス推進

ガバナンスの 充実

- ・コンプライアンスの徹底
- ・リスクマネジメント

Pick Up.01

商品開発を通じて

茶殻を有効活用した 紙製ホルダーの開発



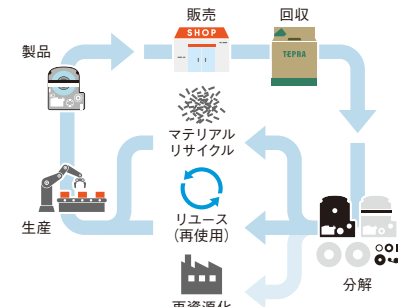
「もっと、ずっと、使えるキングジムへ」。
この宣言のもと、私たちは環境にやさしいだけでなく、お客様に“うれしい”を届けられる商品づくりを目指し「choose green!」という新しい取り組みを始めました。2023年に発売した「紙製ホルダー(茶殻紙タイプ)」は、茶殻をアップサイクルした「茶殻紙」を活用し、(株)伊藤園と共同開発したものです。ほのかなお茶の香りを楽しめるのも特長です。

バイオマスプラスチックを 配合した商品の開発



「バイオマス」とは炭炭や石油などの化石資源と比べて持続的に利用できる、生物由来の再生可能な資源のことです。環境負荷を低減する資源として期待されており、当社はこのバイオマスプラスチックを配合したクリアファイルとクリアホルダーの2種類を開発しました。

使い終わった商品の回収 (「テブラ」PROテープカートリッジ)



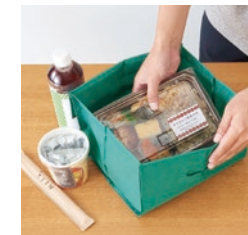
「テブラ」の使用済みPROテープカートリッジを回収しています。回収したテープカートリッジのケースは粉碎し、マテリアルリサイクルにより再びケースの材料に使用します。一部の部品は洗浄・検査の後、リユース(再使用)し、新しいテープカートリッジ・ケースと共に組み立て、新たな製品となり店頭に並びます。地球環境を守るため、キングジムはこの回収活動を1998年から継続的に実施しています。

Pick Up.02

社内の意識向上に向けて

SDGs大作戦

サステナビリティに対する意識を高め、SDGsをより身近に感じるためのキャンペーン「SDGs大作戦」を開催。その取り組みの一つとして当社のコンビニエコバッグ「パッタン」を社員全員に配布し、マイバッグの使用を推進しています。



オリジナル漫画「さすてにゃ通信」

サステナビリティに関する用語や、当社のサステナビリティの取り組みなどを紹介するオリジナル漫画「さすてにゃ通信」を発行しています。「さすてにゃ通信」内に登場するキャラクターが、サステナビリティ活動の社内啓蒙の一助となっています。



歩いて帰ろう!

災害時の徒歩での帰宅を想定した訓練および従業員の健康促進のため、主要ターミナル駅まで歩くイベントを開催。社長・役員を含め50名ほどが参加しました。



Pick Up.03

社外への働きかけ

TCFD[※]提言への賛同を表明

2023年6月、TCFD[※]提言への賛同を表明しました。TCFD提言の枠組みに基づき、気候変動への対応について情報開示をおこなっています。

※気候関連財務情報開示
タスクフォース



東京都「心のバリアフリー」 サポート企業に登録

2022年12月に登録を受け、活動を続けています。今後も引き続き、あらゆる人の生活を便利にする商品の開発や、誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組み、「心のバリアフリー」を推進してまいります。



東京都主催のプロジェクト 「TOKYOエシカル」にパートナーとして参加

2023年3月、エシカル消費を広めるためのプロジェクトにパートナーとして参加しました。社会課題解決の一助として、エシカル消費につながる商品の情報発信などを通じてこの活動に協力し、エシカル消費の普及・啓発に取り組んでいます。

